

## 平成26年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 USEN

コード番号 4842 URL <http://www.usen.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田村 公正

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長

(氏名) 小林 陽介

TEL 03-6823-7015

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年8月期第1四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成25年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第1四半期	17,056	2.4	2,657	34.0	2,423	75.7	1,996	44.4
25年8月期第1四半期	16,659	△1.0	1,982	△20.6	1,378	△37.8	1,382	117.4

(注) 包括利益 26年8月期第1四半期 1,970百万円 (42.1%) 25年8月期第1四半期 1,386百万円 (119.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第1四半期	9.29	9.29
25年8月期第1四半期	6.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第1四半期	67,033	15,610	23.3
25年8月期	67,412	13,639	20.2

(参考) 自己資本 26年8月期第1四半期 15,610百万円 25年8月期 13,639百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年8月期	—	—	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,500	0.5	8,700	0.4	7,300	0.5	5,000	3.4	22.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年8月期1Q	207,148,891 株	25年8月期	207,148,891 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年8月期1Q	1,069,999 株	25年8月期	1,069,902 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年8月期1Q	206,078,940 株	25年8月期1Q	206,079,357 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足資料の入手方法について)

平成26年8月期 第1四半期 決算概況資料は、本日(平成26年1月9日)、当社ホームページで開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自平成25年9月1日至平成25年11月30日）における我が国の経済は、現政権による経済政策の進捗により緩やかな景気回復の兆しが見られ、また円安、株高による景況感も好転しつつあるものの、平成26年4月からの消費税率改定の決定を受け、個人消費や企業業績に不透明感が広がっております。

このような状況の中、当社グループでは成長への第1歩を踏み出すべく、音楽配信事業を中心とした既存事業の更なる強化、新コンセプトによるマーケット開拓、顧客基盤を生かした新サービスの展開に取り組むとともに、キャッシュ・フローを重視した経営を根幹とした持続的な財務体質の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高17,056百万円（前年同四半期比2.4%増）、営業利益2,657百万円（前年同四半期比34.0%増）、経常利益2,423百万円（前年同四半期比75.7%増）、また四半期純利益につきましては1,996百万円（前年同四半期比44.4%増）となりました。

当社グループの各セグメント別の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高を含む。）及び営業利益は以下のとおりであります。

#### <音楽配信事業>

音楽配信事業は、当社グループの事業の軸であり、今後においても、その安定的な収益基盤の維持及び強化を図っていく必要があると認識しております。このため、業務店向け・個人向け市場における顧客維持と取引拡大に向けた取り組みとして、引き続き以下の施策を実施してまいりました。

- ①法人顧客（チェーン店市場）の販促、集客を支援する新たな放送端末の開発、提案
- ②生涯収益が高いと見込まれる新規オープン店に対する営業活動への注力
- ③既存顧客に対するフォロー営業やCS向上施策による顧客数減少の抑止と長期利用の促進
- ④音楽の効能を打ち出したオフィス向け音楽放送「Sound Design for OFFICE」の拡販強化

その結果、音楽配信事業における当第1四半期連結累計期間における売上高は10,090百万円（前年同四半期比2.0%減）、営業利益は2,361百万円（前年同四半期比14.9%増）となりました。

#### <業務用システム事業>

ホテル・病院・ゴルフ場等の業務管理システム及び自動精算機の開発・製造・販売等の業務用システム事業は、(株)アルメックス（連結子会社）が行っております。当該事業においては、引き続き製品並びにサービスに対する潜在的ニーズは堅調であり、新商品の市場への投入や的確な営業戦略に基づき利益の最大化に努めてまいりました。

その結果、業務用システム事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は3,750百万円（前年同四半期比15.9%増）、営業利益は462百万円（前年同四半期比219.8%増）となりました。

#### <ICT事業>

ICT事業は、法人向け回線販売事業やアプリケーションサービス事業を行っております。

当該事業においては、各企業におけるクラウド系サービスやデータセンターサービスに対する需要が高まっていることから、以下の施策を実施してまいりました。

- ①回線利用顧客拡大のための新サービスの開発・投入
- ②顧客ニーズに応えるサービスラインナップの拡充
- ③豊富なサービスラインナップによるオフィス環境改善の提案営業

その結果、ICT事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は2,418百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益は179百万円（前年同四半期比51.7%増）となりました。

#### <その他事業>

その他事業として、業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を行っております。

集客支援事業においては、飲食店向け集客支援サービス「ヒトサラ」を展開しております。グルメサイト「ヒトサラ」内で平成25年2月に立ち上げた飲食店の料理人情報を集約した「料理人名鑑」は、同年11月時点で3,000名を超える現役料理人の情報を掲載するまでに至り、サイトデザインを一新して更なるユーザビリティの向上を図ってまいりました。従来の店舗情報とは異なる視点からお店とユーザーを結びつける新コンセプトによるサービスの提供を行っております。

音楽著作権の管理、開発事業は株式会社ユーズミュージック（連結子会社）が行っております。当該事業においては、音楽配信事業のより一層の発展に向け、楽曲プロモーション媒体を的確に提案・提供することで、レコードメーカー顧客との関係強化に取り組んでまいりました。

その結果、その他事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は823百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業損失は81百万円（前年同四半期は46百万円の営業損失）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

##### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ378百万円減少し、67,033百万円（前連結会計年度末比0.6%減）となりました。

##### （資産）

資産に関しましては、建物及び構築物が507百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ378百万円減少し、67,033百万円（前連結会計年度末比0.6%減）となりました。

##### （負債）

負債に関しましては、長期借入金が2,366百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,349百万円減少し、51,422百万円（前連結会計年度末比4.4%減）となりました。

##### （純資産）

純資産に関しましては、四半期純利益を1,996百万円計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,970百万円増加し、15,610百万円（前連結会計年度末比14.4%増）となりました。

##### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ341百万円減少の7,234百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の営業活動による資金の収入は3,764百万円（前年同四半期比31.6%増）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益を2,286百万円、減価償却費及びのれん償却額を1,728百万円計上したこと等によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の投資活動による資金の支出は1,723百万円（前年同四半期比233.8%増）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得により資金が1,393百万円減少したこと、有形固定資産の除却により資金が245百万円減少したこと等によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の財務活動による資金の支出は2,382百万円（前年同四半期比19.9%増）となりました。その主な要因は、長期借入金の返済により資金が2,366百万円減少したこと等によるものであります。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月7日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社における貯蔵品の評価方法は、従来、移動平均法によっておりましたが、期首から新たに当社の統合基幹業務システムを導入したことを契機に業務の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より、総平均法に変更いたしました。

当該会計方針の変更に伴い遡及適用した場合における過年度の連結財務諸表に与える影響は軽微であることから、期首から将来にわたり総平均法を適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,590	7,244
受取手形及び売掛金	4,991	4,909
商品及び製品	376	461
仕掛品	205	527
原材料及び貯蔵品	1,142	1,209
その他	4,307	4,413
貸倒引当金	△250	△249
流動資産合計	18,361	18,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,766	16,258
土地	21,232	21,232
その他（純額）	3,986	4,258
有形固定資産合計	41,985	41,749
無形固定資産		
のれん	3,693	3,361
その他	1,626	1,680
無形固定資産合計	5,320	5,042
投資その他の資産		
その他	6,842	6,811
貸倒引当金	△5,098	△5,085
投資その他の資産合計	1,744	1,725
固定資産合計	49,050	48,517
資産合計	67,412	67,033
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,157	5,915
1年内返済予定の長期借入金	5,020	5,009
その他の引当金	1,009	466
その他	10,879	10,954
流動負債合計	22,066	22,344
固定負債		
長期借入金	27,301	24,946
退職給付引当金	2,831	2,720
その他の引当金	398	352
その他	1,173	1,059
固定負債合計	31,705	29,078
負債合計	53,772	51,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	66,116	66,116
資本剰余金	62,381	62,381
利益剰余金	△114,355	△112,359
自己株式	△531	△531
株主資本合計	13,610	15,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	3
その他の包括利益累計額合計	29	3
純資産合計	13,639	15,610
負債純資産合計	67,412	67,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	16,659	17,056
売上原価	6,996	7,242
売上総利益	9,662	9,814
販売費及び一般管理費	7,679	7,156
営業利益	1,982	2,657
営業外収益		
産業廃棄物処理代	7	12
その他	53	31
営業外収益合計	61	43
営業外費用		
支払利息	232	217
その他	432	59
営業外費用合計	664	277
経常利益	1,378	2,423
特別利益		
投資有価証券売却益	187	43
営業権譲渡益	—	16
その他	101	0
特別利益合計	288	60
特別損失		
固定資産除却損	213	195
その他	0	1
特別損失合計	213	197
税金等調整前四半期純利益	1,453	2,286
法人税、住民税及び事業税	170	333
法人税等調整額	△99	△43
法人税等合計	71	290
少数株主損益調整前四半期純利益	1,382	1,996
四半期純利益	1,382	1,996

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,382	1,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△25
その他の包括利益合計	4	△25
四半期包括利益	1,386	1,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,386	1,970
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,453	2,286
減価償却費	1,460	1,396
のれん償却額	332	332
貸倒引当金の増減額(△は減少)	78	△13
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△131	△111
支払利息	232	217
投資有価証券売却損益(△は益)	△187	△43
固定資産除却損	213	195
売上債権の増減額(△は増加)	695	81
仕入債務の増減額(△は減少)	△435	640
前受金の増減額(△は減少)	△515	△373
たな卸資産の増減額(△は増加)	△269	△474
その他	494	417
小計	3,420	4,550
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△229	△215
法人税等の支払額	△332	△572
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,860	3,764
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△902	△1,393
有形固定資産の売却による収入	186	—
有形固定資産の除却による支出	△104	△245
投資有価証券の売却による収入	290	84
その他	14	△167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△516	△1,723
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,593	△2,366
セール・アンド・リースバックによる収入	—	69
その他	△393	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,986	△2,382
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	358	△341
現金及び現金同等物の期首残高	5,892	7,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,250	7,234

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	音楽配信事業	業務用 システム事業	I C T 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	10,283	3,227	2,307	15,819	840	16,659	—	16,659
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	15	8	0	23	7	31	△31	—
計	10,299	3,235	2,307	15,842	847	16,690	△31	16,659
セグメント利益 又は損失(△)	2,054	144	118	2,317	△46	2,271	△288	1,982

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△288百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	音楽配信事業	業務用 システム事業	I C T 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	10,074	3,748	2,417	16,240	815	17,056	—	17,056
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	15	2	0	18	7	25	△25	—
計	10,090	3,750	2,418	16,258	823	17,082	△25	17,056
セグメント利益 又は損失(△)	2,361	462	179	3,003	△81	2,922	△265	2,657

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△265百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。